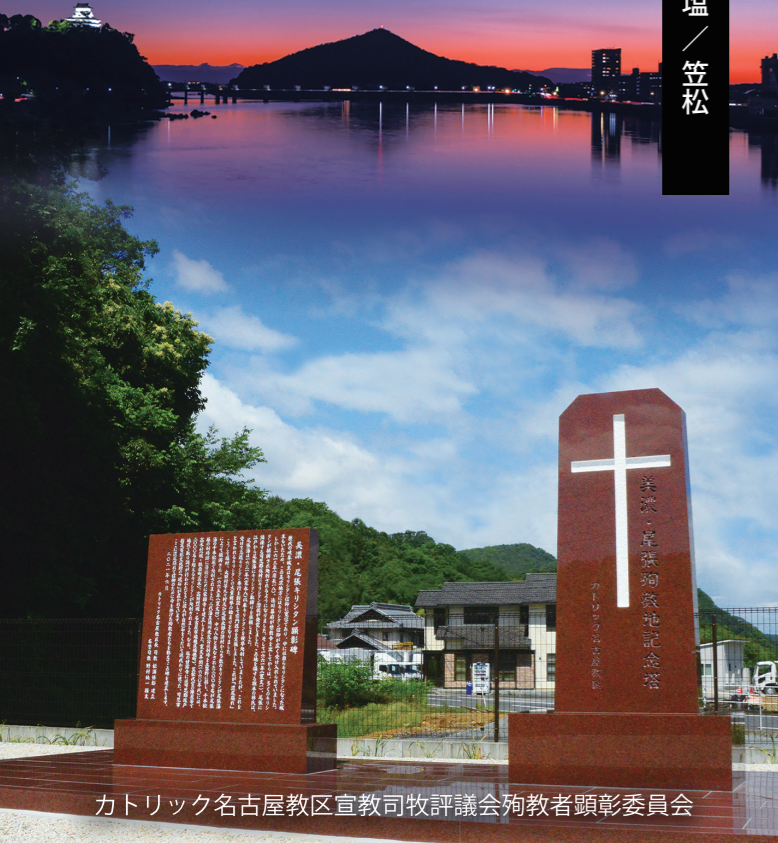
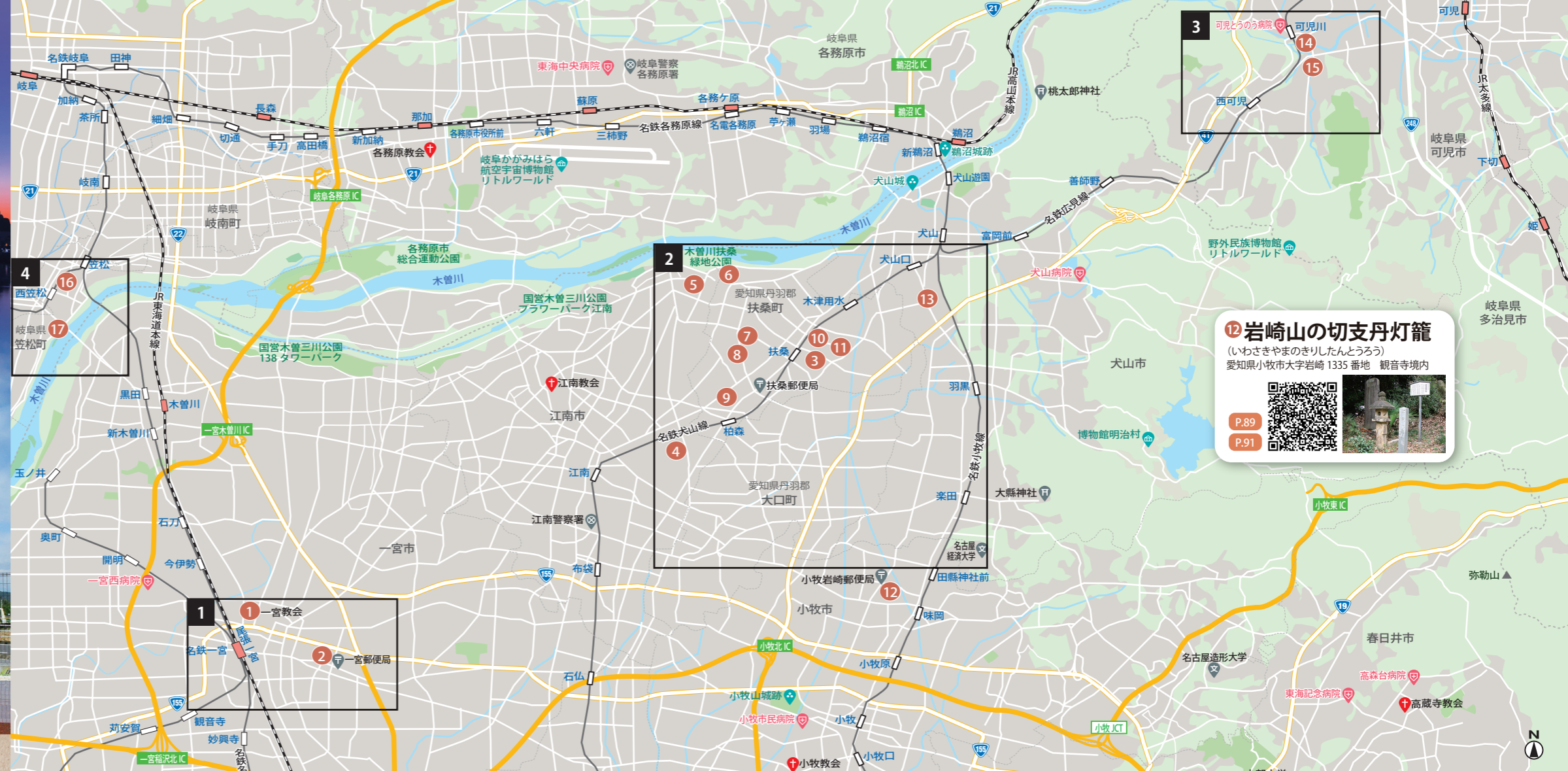


# 美濃・尾張キリシタン 巡礼マップ

一宮／犬山／塩／笠松



カトリック名古屋教区宣教司牧評議会殉教者顕彰委員会



**12 岩崎山の切支丹灯籠**  
(いわさきやまのきりしたんとうろう)  
愛知県小牧市大字岩崎 1335 番地 観音寺境内

P.89  
P.91

## 殉教者を偲び 信仰の歩みを確かなものに

名古屋教区殉教者顕彰委員会は、これまで教区内の殉教者の歴史と遺物の調査を行ってきました。そして1997年に『キリシタン殉教史跡案内』を小冊子にまとめ、その後さらに調査を進めた結果を加えた『あかしする信仰』を2012年に刊行してきました。

また、殉教者に信仰のあり方を学ぶという観点で、2019年度からは、殉教の歴史についての勉強会を企画してきました。残念ながら、コロナウイルスの感染の拡がりのために当初の計画は途中で中止せざるを得なくなりましたが、全10回の予定のうち8回は完了しました。

そして2021年6月19日には、寛文年間(1661年-73年)に起こったキリシタン検挙事件である「濃尾崩れ」で殉教した二千人ほどの信徒を顕彰するために、松浦司教の司式で可見市塩の土地に「美濃・尾張キリシタン顕彰碑」を建立しました。

このように殉教者顕彰委員会は活動を続けてきましたが、この度、教区内から寄せられた多くの希望を受けて、名古屋教区の巡礼マップを作成することになりました。本来であれば、教区全体を射程にいった包括的な巡礼マップが理想的なのですが、まずは一日の小規模の旅のバスターや、個人、少人数でも巡礼できる地図を作成してみました。これは、笠松、一宮、江南、扶桑、犬山、可児市塩、名古屋(栄国寺)の殉教地やキリシタン史跡を巡って、殉教の実態を知り、殉教者のために祈ることを目的としています。

モデルコースの出発地は名古屋教区一宮教会とし、解散は笠松とし、無理のない行程で(十分な昼食時間と、トイレ休憩を入れるなど)巡礼できるように考えてみました。

わたしたちの先輩の信仰の生き方を偲びつつ、現在の教会の信仰のあり方について考え、希望ある未来を目指して信仰の歩みを確かなものにできるのではないかと思います。ぜひ活用していただければ幸いです。

巡礼地ごとにQRコードを付けました。スマートフォンで読みむと、さらに詳しい情報を見ることができます。



### 【巡礼ツアー モデルコース】

所要時間：約6時間

- 1 **1 カトリック一宮教会 日本二十六聖人ゆかりの地**  
愛知県一宮市大宮 1-7-1  
10分
  - 2 **一本松塚切支丹処刑場跡** 愛知県一宮市緑 2丁目 12  
30分
  - 2 **3 恵心庵** 愛知県扶桑町高木白山前 772  
20分
  - 4 **4 前野家屋敷跡** 愛知県江南市前野町西 261  
30分
  - 13 **5 五郎丸の殉教者石碑** 愛知県犬山市大字五郎丸万福寺 13  
40分
  - 3 **15 美濃・尾張キリシタン殉教者顕彰碑**  
岐阜県可児市塩字宮下 222-1  
3分
  - 14 **14 甘露寺** 岐阜県可児市塩 1001-26  
60分
  - 4 **16 笠松善光寺・牟屋敷跡** 岐阜県羽島郡笠松町下新町 42  
10分
  - 17 **17 大白塚跡** 岐阜県羽島郡笠松町田代 177-5  
30分
- 解散：一宮教会／名鉄西笠松駅  
5分 15分

〈訪問時の注意事項〉  
◎史跡として整備されていないところばかりですので、近隣住民に迷惑をかけないよう配慮してください。  
◎ごみを出したり、交通の妨げとなったりしないように、また特に車の駐車場所には十分御注意ください。

### 愛知県名古屋市

**18 栄国寺** (えいこくじ)  
愛知県名古屋市中区橋1丁目21-38  
『あかしする信仰』 P.94 / 97

栄国寺は、かつて千本松原と呼ばれた尾張藩の刑場跡に建てられた浄土宗の寺である。徳川光友が、処刑された200余名のキリシタンを埋葬したこの地にその慰霊のために、また合わせて非業の死(死罪、病死、行き倒れ)を遂げた人々のことも思つて、一字を建立した。本尊の阿弥陀如来坐像は、寛文6年(1666)年、尾張北部の丹羽郡塔ノ地村(現在の愛知県犬山市塔野地)にあった比叡山延暦寺の別院・薬師寺から、千人塚別名切支丹塚の菩提のため、徳川光友が大八車で移されたと伝わる。



**19 旧高田村処刑跡推定地**  
(きゅうたかたむらしおしいしやうあつすいいち)  
愛知県名古屋市長徳区瑞穂町  
P.105 / 106

旧高田村には多くの切支丹が処刑されたという言い伝えがある。それは、名古屋市立大学構内にある円墳：剣ヶ森古墳の辺りで寛文7(1667)年10月のことではないかと考えられている。





1 愛知県一宮市

1 カトリック一宮教会  
日本二十六聖人ゆかりの地

愛知県一宮市大宮 1-7-1

日本二十六聖人(1597年長崎西坂で処刑)のうち、コスメ竹屋、パウロ茨木、レオ烏丸、ルドビコ茨木、パウロ鈴木の5名は尾張出身である。そこで、尾張国の一宮の門前町にある当教会の集会場には、彼ら5名のキリシタンのレリーフが置かれ、顕彰されている。また、1620年度の「イエズス会日本年報」には、当時この一宮の地に優れたキリシタン共同体があったことが記されている。



▼聖コスメ竹屋、聖パウロ茨木、聖レオ烏丸、聖ルドビコ茨木、聖パウロ鈴木のレリーフ



2 一本松塚切支丹処刑場跡

愛知県一宮市緑 2丁目 12

ここは、一宮のキリシタン共同体の指導者であったポール兵右衛門、その子シモンク三郎、医師のコスモ道閑、レオン庄五郎が1631年に検挙され火あぶりによって殉教した処刑地である。1950年に名古屋教区は十字架型木高札と石柵を設置したが、木高札が腐朽した後、1967年に一宮史談会によって「水かけ十字碑」が建立された。

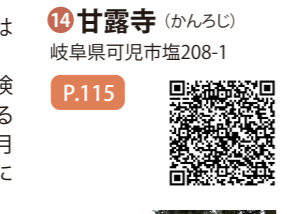


3 岐阜県可児市塩

濃尾崩れ発端の地。江戸時代前期この塩村には沢山のキリシタンがいたことが記録に残っている。甘露寺の境内にある「硯石」は、キリシタン検挙時に山林で役人が取り調べに用いたとされる硯の代用石が移設されたものである。2021年6月12日に塩交差点付近のカトリック教会私有地に「美濃・尾張キリシタン殉教者顕彰碑」が建立された。

15 美濃・尾張キリシタン殉教者顕彰碑

岐阜県可児市塩字宮下222-1



2 愛知県江南市／丹羽郡扶桑町／犬山市

3 恵心庵

愛知県丹羽郡扶桑町高木白山前 772

江南市から扶桑町をへて犬山市にいたる地域にはキリシタン処刑地と伝わる場所がいくつもあるが、現在その殉教の痕跡を確認できるものは多くない。その中で恵心庵は由緒書きが詳細に記されている。1631年と1660年代に高木村およびその周辺の村々では多くのキリシタンが発見され殺された。その霊を弔うために地蔵尊をおいたことが恵心庵の起りである。

4 前野家屋敷跡

愛知県江南市前野町西 261

豊臣秀吉に仕えた前野将右衛門一族の屋敷跡。前野将右衛門はキリシタンと伝えられ、遠藤周作が彼をモデルに小説を書いたこともある。また戦国時代の一族の物語『武功夜話』を筆記した吉田(前野)千代もキリシタンであり、1667年10月12日、夫と姉妹2人と共に名古屋の千本松原(現在の栄国寺付近)で処刑された。



13 五郎丸の殉教者石碑

愛知県犬山市五郎丸上前田

犬山万願寺交差点北西には、赤芽椋の垣根に沿って小さな社がある。そこには祠があり、「正徳壬辰二年(1712)十一月吉日 諸神諸仏諸菩薩」と銘記された石碑が建っている。これは、五郎丸はじめ付近一帯の殉教者を追善するために、江戸時代の庄屋中村半右衛門が建立したものである。

「五郎丸」交差点より北に向かい万願寺へ信号を左折、稲置街道に入るとすぐ右にこの赤い鳥居が見える。



5 熱田社・下般若地蔵堂

熱田社：愛知県江南市般若町東山 37  
下般若地蔵堂：江南市般若町東山 115-2

6 小淵薬師寺

「石割不動」と「舟形地蔵尊」



4 岐阜県羽島郡笠松町

16 笠松善光寺・牢屋敷跡

岐阜県羽島郡笠松町下新町42

「天保十五年十一月遠立」と記された二つの石碑は1879年に河川敷の大臼塚から移設された。

17 大白塚跡

岐阜県羽島郡笠松町代177-5

